

第1学年 国語科学習指導案

児童 1年3組 男15名 女12名
 指導者 瀬川 由佳

育てたい主となる能力(基礎・基本)

・身近な事柄について、話題に沿って、話し合うこと。

(話・聞 ウ)

- 1 単元名 よくきいて、あてよう
 教材名 わたしは、なんでしょう

2 子どもと単元について

- (1) 子どもたちは、「好きなものおしえて」「たんけんしたよみつけたよ」「みんなにしらせたいこと」の学習で大切な内容を選んで話したり、大事な事を落とさずに聞いたりする活動を行ってきた。「おみせやさんごっこをしよう」では、話したり聞いたりしながら相手と話を学習している。これらの学習を通して、話し手は身近な生活の中で気付いたことを話題とすること、聞き手に興味をもって聞いてもらうために具体物を持って話すこと、順序に気を付けながら話すことを学んだ。また、聞き手は、話し手の方を見ながら内容を最後まで聞き取ることや興味や共感をもちながら話を聞くことを学習してきた。国語の学習以外でも、聞き取った話を自分の言葉で繰り返す活動や、毎日の帰りの会の「スピーチコーナー」で学級の友達の前で話を活動を取り入れてきた。

これらの活動を通して、日常生活の中から話題を選び、話すことに楽しさと意欲をもちながら活動することができるようになってきている。また、話にあいづちを打ったり声の小さな友達の話にも聞き返したりしながら共感をもって聞くなど、話し手に楽しく相対する態度も身に付いてきた。

- (2) 本単元「よくきいて、あてよう」は、「わたし」を尋ねたり、それに答えたりする活動を通して、話し合うことの楽しさを知り、話題に沿って話し合う力を育てていくことをねらいとしている。

本教材「わたしは、なんでしょう」は、「話すこと」「聞くこと」をそれぞれ分けて学習してきたことを使い話し合いを進める内容である。「わたしは、なんでしょう」クイズという場を設定し、聞き手と話し手が相互に入れ替わりながら、一対一または少人数で「わたし」を探るという学習である。自分が考えた問題を答えてほしい、相手の問題に答えたい、という思いで、必要感をもち、話し合っていくことにより、相手を意識して話し合う力が身に付くと考える。

教材文では、クイズの方法が一目で分かるだけでなく、「よくきいて」と単元名にある「よく」とは、大切なことを落とさないようにしっかり聞くこと他に、知りたいことを尋ねて聞くことも含まれることを理解することができる。「大切なこと」について考えることは、相手に分かりやすく話すためにどのヒントを選ぶかを考えることにつながり、聞き手になったときの質問事項の幅を広げることにもつながる。ゲームという楽しい場を設定しての話し合いなので、自然と楽しく積極的に参加しようとする態度や意欲も育っていくことであろう。

このように、本教材はゲームという場での、問題に沿って話し合うという「話し合うこと」の基本的な内容に焦点を当てた指導ができることから、単元のねらいにせまるための適材であると考えられる。

- (3) 本単元では、基礎・基本の定着を図るために、**一対一や少人数で話題に沿って尋ねたり応答したりする**という領域の特性を生かした言語活動を行う。

- ・「わたし」の問題の出し方について話し合う。 (「学ぶ」段階)
- ・「わたしは、なんでしょう」クイズを行う。 (「深める」「広げる」段階)

単元の学習を進めるに当たっては、下記の5つの言語意識を明確にする。

- ◇相手意識 →学級の友達に
- ◇目的意識 →「わたし」について分かりやすく話したり、詳しく尋ねたりしながら
- ◇場面・状況意識 →「わたしは、なんでしょう」クイズをする。
- ◇方法意識 →「わたし」が分かるように問題を話したり、その問題を聞き、さらに「わたし」を知るための質問をしたりする。
- ◇評価意識 →「わたし」について詳しく尋ねたり、友達の質問に正しく答えたりすることができたか自己評価・相互評価をする。

ここで、身に付けた「話題に沿って話し合う力」は、国語科・他教科・他領域の学習に生かすことができる。例

例えば、国語科での感想交流、話し合いによる考えの深め合い、学級活動では身近な話題を具体的に話し合うなどである。また、日常生活の会話にも生かすことができる。

3 学習指導目標及び評価規準

	学習指導目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	◎興味をもって話題に沿って話し合いをしようとする。	・分からない事や詳しく聞きたい事を尋ねたり、それに答えたりしながら、興味をもって「わたし」クイズについての話し合いをしようとしている。
話す・聞く能力	◎分からない事や詳しく知りたい事を尋ねたり、それに答えたりすることができる。 (話・聞 ウ)	・「わたしは、なんでしょう」クイズで分からない事や詳しく知りたい事を尋ねたり、それに答えたりしている。
言語について 知識・理解・技能	○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すことができる。(言オ (ア))	・丁寧な言葉を使って話したり尋ねたりしている。

4 学習指導計画及び評価規準

5時間 (話・聞)

過程	学習内容と主な学習活動	評価規準<評価方法>		
		国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての 知識・理解・技能
見通す	○「わたしは、なんでしょう」クイズの計画を立てること ・教材文を読んで、クイズの方法を理解する。 ・「わたしはなんでしょう」クイズの計画を立てる。 1時	「わたしは、なんでしょう」クイズに意欲をもち、教師のクイズの答えを考えようとしている。 <発言・態度>	「わたしは、なんでしょう」のクイズの方法を理解している。 <発言・ノート>	丁寧な言葉と普通の言葉の違いを理解して話している。 <発言・様子>
学ぶ	○クイズを出すときの話し方や話の聞き方を考えること ・「わたし」の特徴を尋ねる練習をする。 ・「わたし」のクイズを作りながら、分かりやすく伝えるための問題文の作り方や話し方を考える。 1時	伝える「わたし」の特徴を考え問題文を書いたり話したりしようとしている。 <様子・プリント>	「わたし」の特徴を分かりやすく伝えるための問題文の作り方や話し方を理解している。 <様子>	敬体で問題文を書いたり話したりしている。 <問題カード・様子>
深める	○ペアでクイズを出し合うこと ・交代で問題を出したり尋ねたりする。 本時 1時	「わたし」について知りたいことを尋ねたり、それに答えたりしようとしている。 <様子・プリント>	「わたし」について知りたいことを尋ねたり、尋ねられたことに答えたりしている <様子・プリント>	丁寧な言葉で話したり尋ねたりしている。 <発表・発言>
	○別のペアでクイズを出し合うこと ・交代で問題を出したり尋ねたりする。 2時	「わたし」について知りたいことを尋ねたり、それに答えたりしようとしている。 <様子・プリント>	「わたし」について知りたいことを詳しく尋ねたり、それに分かりやすく答えたりしようとしている。<様子・プリント>	丁寧な言葉で話したり尋ねたりしている。 <発表・発言>
広げる	○小グループでクイズを出し合うこと ・聞き手に分かりやすく話したり、問題の特徴を詳しく尋ねたりしてクイズ大会を行う。 1時	問題文の内容を落とさず聞き取り、詳しく尋ねたりそれに応答したりしながら活動しようとしている。 <様子・プリント>	問題文の内容を落とさず聞き取ったり、詳しく知りたいことを尋ねたり、それに答えたりしている。 <様子・プリント>	丁寧な言葉で明瞭に話したり尋ねたりしている。 <様子・発言>